
医療法人恭友会 DX戦略



2024年 11月18日
医療法人恭友会
医院長 長谷川恭弘

1.DX取組宣言

医療法人恭友会は、栃木県で整形外科診療およびスポーツ医学に特化した医療サービスを提供しています。特に予防医学に力を入れ、患者様のために早め早めに様々な観点から健康を維持する方法を見つけ、ただ痛みを取るだけでなく長く健康でいられるための体づくりができるような治療に取り組んでいます。

人生100年時代と言われる昨今、働く高齢者が増え、長く健康で生活していきたいという患者様の増加により、整形外科クリニックの施設数は毎年、増加の一途を辿っています。いまや「リハビリを提供している」というのみで患者の集客をすることは難しくなっています。従来のレントゲンを取って薬を出すだけの治療では時代に取り残されてしまいます。

また、スポーツ整形に通う学生も多く、県外・海外からも一時的な治療ではなく、今後長く痛みが出ない体にしてほしいというお声を多くいただいております。多様な患者様のニーズにお応えするために新しいデジタル技術・診断・治療方法も導入し、選ばれる整形外科クリニックに変革する必要があると思っています。これこそ、私がDXに取り組みたいと思った理由です。

今後は、栃木県内のみならず、全国・海外の患者様に対し積極的にAIやデジタルシステムなどを用いたデータに基づく診断により、姿勢や歩き方を可視化して評価（筋力が落ちている、硬くなっている、関節の動きが悪い等）・診断・サポートをしていきます。更には、患者様の健康状態のデータをAIツールで分析し、整形外科の治療に加えて日々の運動や食生活まで幅広く伴走型で指導する「AI健康維持指導サービス」を展開してまいります。

医療法人恭友会は、患部の一部分の治療にとどまらず、デジタル技術やデータを駆使して患者様の現状を可視化しスピードをもって診断し、おひとりお一人に合ったよりよい治療法や日々の運動や食の在り方を提案することにより、長期的なビジョンで患者様の強い体づくりをサポートできるよう、メンバー全員でDX推進に取り組んでいきます。

2.経営理念・経営ビジョン

【経営理念】

われわれは
患者様によろこばれる治療を通じて
世の中の発展と繁栄に貢献し
あわせて全員が成長する経営を行います

【経営ビジョン】

医療法人恭友会は、患者様が長く健康でいられるための体づくりを目的に、データとデジタル技術を駆使し、患者様に寄り添った伴走型の治療や健康維持サポートをおこないます。

5年後に栃木県リピート率NO.1のスポーツ整形外科クリニックを目指します。

3.DX戦略

当院は、栃木県リピート率NO.1のスポーツ整形外科クリニックになるという経営ビジョンやAI健康維持指導サービス提供実現のために、下記のDX戦略を推進します。

戦略①
データ活用による
患者様満足度向上

患者様の健康状態を示すデータを一元管理し、来院頻度、満足度、離脱理由、健康状態等の分析によりお一人お一人に寄り添った情報提供を行うことで患者様の満足度を高める。

戦略②
AI健康維持指導サービスの提供

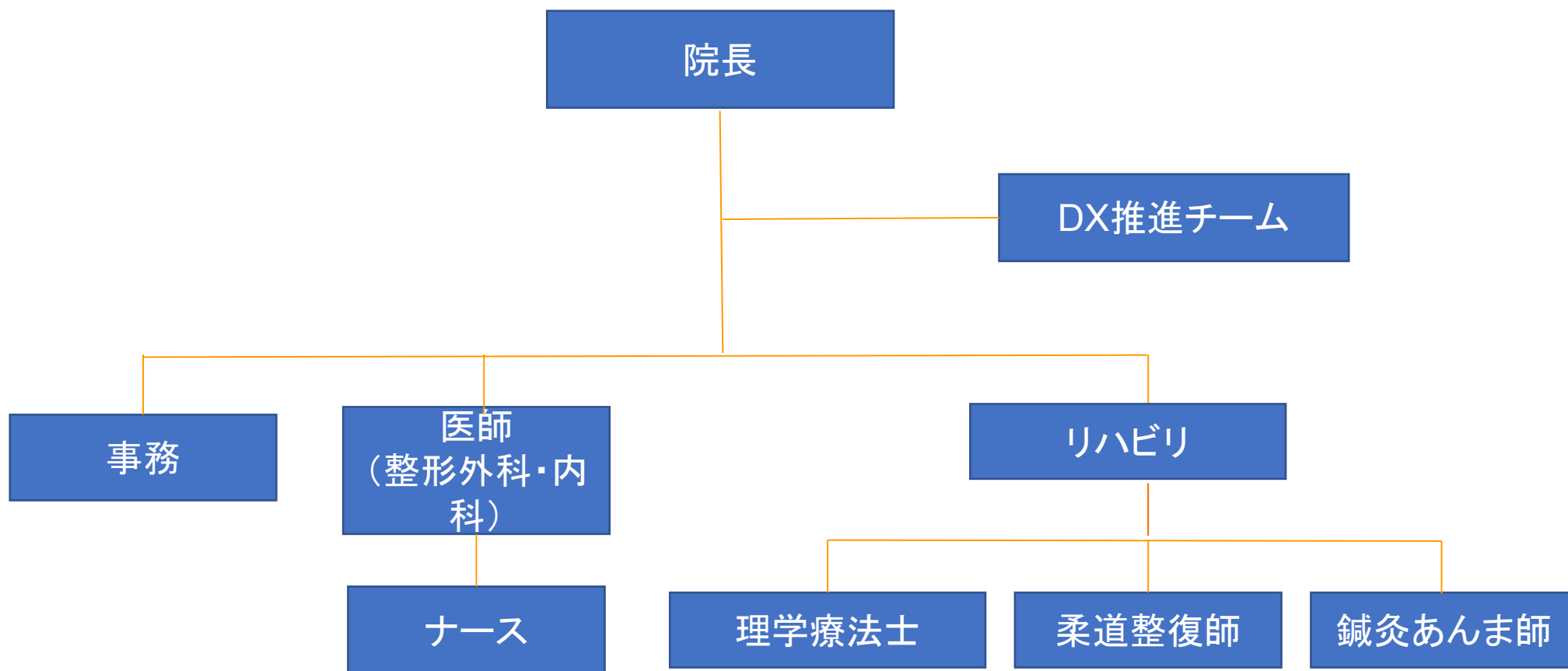
整形外科の治療に加え、患者様のバイタルデータをAIで分析し、長く健康でいるための伴走型の「AI健康維持指導サービス」を新規で提供する。

戦略③
クリニックのデジタル化

クリニックのデジタル化推進のために、AIを活用し音声・表情を用いた究極の問診を行う。
デジタル技術を活用できるデジタル人材を育成する。

4.体制・人材育成

当院は、DX実務執行総括責任者(院長)を中心としたDX推進チームを設置し、各部門長を構成員として定期的にDX戦略の進捗を確認しながらDXを推進します。また、DX推進チームで計画を立案しデジタル人材の育成を進めます。



5. デジタル技術、環境整備

当院は、DX推進のために毎年経常利益の10%を投資し、以下の既存システムの見直しや新規システムの検討により、デジタル技術の導入や環境整備に努めます。

< 既存システム >

- ・Googleワークスペース
- ・チャットワーク
- ・電子カルテ
- ・電算システム(会計)
- ・SDSビューワー(レントゲン)
- ・メディカル革命(予約システム)
- ・アイブリー(自動音声案内システム)
- ・スポルティック(姿勢解析システム)

< 新規システム >

- ・AI問診システム

6.数値目標(KPI)

戦略	内容	いつまでに	目標(KPI)	担当部署
戦略① データ活用による 患者様満足度向上	データ活用による患者様満足度向上	2027年までに	2024年と比較して 30%向上	事務
戦略② AI健康維持指導 サービスの提供	AI健康維持指導サービスの提供	2027年までに	2024年と比較して 30%向上	医師 リハビリ
戦略③ クリニックの デジタル化	AIを活用した問診の活用	2027年までに	50%活用	医師 リハビリ
	デジタル人材の育成	2027年までに	50名	DX推進チーム

7. DXに関する院長(実務執行総括責任者)メッセージ

**変革のときを迎えた医療。
医療法人恭友会は、DXで患者様の未来を拓きます。**

医療法人恭友会院長、長谷川恭弘です。

栃木県で整形外科診療とスポーツ医学に特化し、予防医学にも力を入れて、患者様一人ひとりの健康維持と、痛みを取り除くだけでなく、長く健康でいられるための体づくりをお手伝いしています。

近年、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。患者様のニーズも多様化し、より質の高い医療サービスを求める声が高まっています。

そうした状況を踏まえ、医療法人恭友会は、DXに積極的に取り組んでいきます。
DXを行う目的は、決して最新技術を導入することだけではありません。
データとデジタル技術を使って、診察をより効果的に行い、患者様の健康増進に役立て、地域医療の発展にも貢献していきたいと考えております。

DXは、医療の未来を変える可能性を秘めた大きな力です。医療法人恭友会は、この力を使って、患者様の健康と幸せを全力でサポートしていきます。

今後とも、医療法人恭友会をよろしくお願いいたします。

医療法人恭友会 院長 長谷川恭弘